

**呼吸器センター内科を受診された患者さんの  
過去の検査画像を用いた臨床研究のお知らせとお願い**

当院の呼吸器センター内科では、個人情報保護等の一定の条件を満たし、当院の研究委員会で厳格に審査され、承認を受けた「類似症例検索システムの臨床有用性の研究」を実施することとなりました。

本研究では、過去に呼吸器センター内科で診療を受けられた患者さんにおいて撮影された検査画像と、その画像診断報告書などの症例データを利用いたします。

しかしながら、以前に呼吸器センター内科を受診された患者さんについて、あらためて連絡を差し上げてご説明をし、ご承諾を頂くことは極めて困難です。

このため、本研究に関しまして、以下に研究の内容を公開いたしますので、ご自身の検査画像が研究の対象になる可能性があると思われる方で、研究への使用を望まれない場合は、お問い合わせ窓口にご連絡頂くようお願いいたします。

なお、研究への参加をされない場合も、当院での診療において不利になることは一切ございません。

- 研究名

「類似症例検索システムの臨床有用性の研究」

- 研究の目的

画像診断ネットワークシステム（PACS）の普及により、全医療スタッフが、瞬時に、院内どこでも、オンデマンドで、検査画像や画像診断報告書（症例データ）を閲覧できる環境が実現され、画像診断の生産性は大きく向上しています。

しかしながら、日々の診療で蓄積される大量の電子化された症例データを、有効に利活用する仕組みは殆ど出来ておらず、貴重な症例データが埋もれたままになっているのが実状です。

本研究では、当院に受診された患者さんの検査画像の中で、将来の診療の参考・教育用として有用性のきわめて高いものを抽出し、保存のうえ再利用することを可能にするシステムを開発し、それにより、一層的確で信頼性の高い画像診断の実現を目指しています。

今回、開発メーカーの研究委託により、試作機を用いて、臨床有用性の検証実験を実施することとなりました。

- 研究参加の内容  
当院において、過去に診療を受けられた患者さんのために撮影された検査画像（CT、単純写真、PET、MRI など）と、その画像診断報告書を、全て匿名化のうえで、本研究に利用させていただきます。
- 研究における倫理的配慮  
検査画像と画像診断報告書を利用させていただくことによる、患者さんへの健康被害等の不利益は一切ありません。  
また、職務上の必要性から許可された研究者に限り閲覧できる管理のもと、名前など全ての個人情報を消去して利用いたしますので、患者さんの個人情報が漏れることは一切ありません。
- 研究結果の公開  
本研究の結果は論文等により公開されます。
- その他  
本研究の成果物には、知的財産権が生じる可能性があります。このような場合、その権利は研究者あるいは当院に属し、患者さん個人には属さないという考え方をとります。これは、国内および諸外国の研究機関と同じ考え方です。
- さらに情報を希望される方へ  
以上の説明に関して、さらに情報が必要とお考えの方は、下記問い合わせ窓口にご連絡下さい。

お問い合わせ先：

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

呼吸器センター内科 部長 岸 一馬

〒105-8470 東京都港区虎ノ門二丁目2番2号

電話 03-3588-1111（代） FAX 03-3582-7068